



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）5月15日号 No. 1594

目次

■ 新・極東開発プランを読む	齋藤 大輔	1
■ キーパーソン		10
アルメニアで新政権・内閣が発足／10		
ロシアでスルコフ副首相・官房長官解任／11		
■ トピックス		12
日露共同声明のテキスト公開される／12		
日立建機がロシア、カザフから鉱山機械を受注／12		
武蔵野フーズがウラジオストク企業と提携へ／12		

新・極東開発プランを読む

ロシアNIS経済研究所 主任

齋藤 大輔

はじめに

ロシア政府はこのほど、2025年までの極東・バイカル地域が発展していくための施策を盛り込んだロシア連邦国家プログラム「極東・バイカル地域社会経済発展」を承認した。そこで今回の速報では、この国家プログラムを紹介するとともに、解説をお届けする。

2025年までの総合開発計画

この国家プログラムは、これまでの開発計画とはかなり違う。まず、12年という長期にわたる社会・経済分野に限定した開発計画は、戦略文書ならあるが、ロシアでは例がない。プログラムには数百にもおよぶ具体的なプロジェクトが記載され、予算措置や実施期間が示された。長期にわたる文書は、投資額が概算であったり、金額を明示しないのが通例のロシアとしては珍しい。

今回は、アジアシフトを鮮明にしたプーチン政権の極東開発にかける意気込みが表れている。それを国民と諸外国に提示した点大きい。「ロシアにとって、極東開発は最優先課題である」との強いメッセージを示すものである。